

沼津市地域公共交通網形成計画（新計画名：地域公共交通計画）の修正対応表

ページ	第2回協議会での意見等	対応内容
P16,17	<p>【公共交通体系の構成要素、イメージ図】</p> <p>①補助制度に縛られず、市として位置づける路線の役割を整理すること。</p> <p>②構成要素とイメージ図がリンクするよう言葉の表現も統一すること。</p> <p>③フィーダー系統に関して、補助路線として補助の必要性を明記しておくこと。</p>	<p>①路線の分類及び役割の位置づけを見直し</p> <p>沼津駅を起点とする各方面を運行する路線のうち、都市的居住圏内（沼津駅から概ね3km圏内）までの区間を「市内幹線」、都市的居住圏外を運行する路線またはその他市内の拠点間を結ぶ路線を「郊外路線」、隣接する市町の拠点までを運行する路線を「広域路線」と位置づけ。</p> <p>②構成要素表とイメージ図内の言葉の表記を統一</p> <p>③構成要素表の枠外に、国の支援制度を必要とする旨の記載を追加</p>
P23	<p>【自主運行バス等の運行維持に係るルールづくり】</p> <p>※意見以外の修正</p>	<p>西部地区及び南部地区の路線再編のプロジェクトの位置づけの変更</p> <p>西部及び南部地区は都市的居住圏内の公共交通軸形成に該当しない路線再編となるため、タイトルを「<u>自主運行バス等の路線再編・集約と運行維持に係るルールづくり</u>」とし、西部及び南部地区の路線再編を位置づけ。</p>
P29	<p>【運行情報のオープンデータ化】</p> <p>運行情報のデータ化とオープン化はそれぞれ別の話であるため、タイトルの表現の見直しを。</p>	<p>「運行情報のデータ化と活用」にタイトルを変更</p>
P30	<p>【ゾーン制運賃などの導入】</p> <p>「ゾーン制運賃」の表記について、ゾーン制運賃導入の具体的な見通しがない段階であるため、決め打ちした表現でないほうがよい。</p>	<p>「ゾーン制運賃」の表記を「運賃制度の見直し」に変更</p> <p>「ゾーン制運賃導入」の箇所を、「わかりやすい運賃体系とするため、<u>運賃制度の見直し</u>について検討します」という表現に変更。</p>
P30,42,49	<p>【利用しやすい料金体系】</p> <p>「料金」という言葉より「運賃」という言葉の方が表現が適切である。</p>	<p>「利用しやすい運賃体系」という表現に変更</p>

P31	<p>【バスターミナルの環境改善】</p> <p>バリアレス縁石導入などバスベイの改良は、バスターミナルだけでなくバス停などでもやるべき。バスターミナルの方にだけに記載すると、ターミナル以外はやらなくてよいという印象を与えてしまう。</p>	<p>Ⅲ-⑨に「バリアレス縁石等の導入」についての記載を追加</p> <p>Ⅲ-⑩のバスベイに関する記述はそのまま残しつつ、Ⅲ-⑨にもバリアレス縁石等の導入について検討する旨の記載を追加。</p>
P33	<p>【長大路線の企画乗車券】</p> <p>住民向けと観光向けの違いを明確にするため、「地域を限定した往復割引」という表現を、「地域住民に限定した往復割引」というような表現で強調した方がよい。</p>	<p>「<u>地域住民を対象とした往復割引</u>」という表現に変更</p>
P38	<p>【いつでも安心・安全プロジェクト】</p> <p>実施主体の中に鉄道事業者にも入ってもらった方がよい。</p>	<p>実施主体に「鉄道事業者」を追加</p> <p>・第2回協議会后、本案件についてJRに検討いただいたところ、実施主体に入っただくことへの了解を得たため、<u>実施主体に鉄道事業者を追加</u>。</p>
P38	<p>【災害発生後の運行継続のための仕組みづくり】</p> <p>行政と事業者が相互に協力していくことの必要性を記載しておくとうよい。</p>	<p>文章中に「<u>沼津市、交通事業者が相互に連携し、</u>」という表現を追加</p>
P42	<p>【利便増進事業一覧】</p> <p>※意見以外の修正</p>	<p><u>ト. イ～ヘ (P41 参照) に掲げる事業と併せて行う事業に該当する事業が、P42 以降に掲載する利便増進事業に位置づけられていなかったため、追加。</u></p>
P48、P50	<p>【運行情報のデータ化と活用】</p> <p>【デジタルサイネージの設置】</p> <p>【バス停の環境改善】</p> <p>【バスターミナルの環境改善】</p>	<p>上記に伴い、利便増進施策として各項目を追加</p> <p>併せてプロジェクト掲載ページの項目名の横にも「利便増進事業」のマーク（青枠・白抜き文字）を追記。</p>

P52,53	<p>【指標③、指標④】</p> <p>① 指標③は収支率ではなく収支差額とし、現状よりも改善することを目標とする。</p> <p>② 指標④はマストでないため削除する。</p>	<p>① 指標③を「路線バス運行に係る収支差額」に変更 目標値は現状より回復させることとし、現況値△434,022千円 → △430,000千円以内とした。</p> <p>② 指標④は削除</p>
P52	<p>【指標③】</p> <p>収支改善の状況や利用変化と合わせ総合的に判断するための指標である旨を一言書いておいた方がよい。</p>	<p>指標③下部に、総合的に判断するための指標である旨の1文を追加</p>

「沼津市地域公共交通網形成計画変更(案)」パブリックコメントの結果

沼津市地域公共交通網形成計画変更(案)についてパブリックコメントを実施しましたところ、市民の皆様から貴重な意見をいただき、ありがとうございました。皆様からいただきました意見の概要と市の考え方・対応をお示します。ご意見をいただきました皆様には深く感謝いたします。

1. 実施期間 : 令和3年12月13日(月) ~ 令和4年1月11日(火)
2. 閲覧場所 : 市ホームページ、市役所(まちづくり政策課、生活安心課)、市内各市民窓口事務所、市立図書館
3. 提出者数 : 3名
4. 意見件数 : 3件

沼津市地域公共交通網形成計画変更(案)パブリックコメント

No.	意見の概要	市の考え方・対応	修正の有無
1	<p>西部地区路線の再編について、バスを利用するのは主に免許のない高齢者であると思います。高齢者の需要としては、市立病院への通院などが多いと思いますが、居住地によっては、市立病院に行くのにバスと電車を交互に乗継ぎ、2回の乗換えを要する人もいます。路線再編にあたっては、こうした移動手段のない高齢者の需要を第一に考えた内容でご検討いただきたいと思います。</p>	<p>西部地区路線の再編につきましては、今年度末に策定予定の「沼津市地域公共交通利便増進実施計画」の中で、現在のミューバス片浜駅循環線、原駅循環線、原団地線等を含めた西部地区一帯の路線の再編を、令和4年度に向け実施するものとしています。</p> <p>現在の循環線は、便により回り方や経路が異なりわかりづらいことや、一部利用がほとんどない区間があることなどから、需要に応じた効率的な運行に見直しを図るものです。</p> <p>ご意見にもありました市立病院や、需要の多いらば一と沼津へは、原駅・原団地から直通で行くことのできる路線への再編を検討しています。</p> <p>バス路線の再編に関しましては、引き続き利用状況を注視し、地元利用者の声を伺いながら進めてまいります。</p>	無

No.	意見の概要	市の考え方・対応	修正の有無
2	<p>大岡地区で地区内を運行する乗合タクシーの実証実験が行われたようですが、このようなタクシー車両で地域内を移動し、高齢者が買い物や通院に利用できる乗合タクシーの普及を進めてほしいです。また、このような地区内乗合タクシーを実施する際の事業の進め方に関する手法や、運行に係る支援なども、市に協力いただけると、地域としても取り組みやすくなり、より普及が進むと思います。</p>	<p>大岡地区につきましては、令和3年4月～9月までの半年間、大岡地区公共交通推進住民協議会が主体となって、地区内循環の乗合デマンドタクシーの試験運行を実施しました。この試験運行の結果を踏まえ、地区では現在、本格運行に向けた検討が進められています。</p> <p>市では、このような住民主体の協議会設置や試験運行に対し支援を行っており、新たな地域内交通のあり方について、地域の皆様と一緒に考え、試験運行から本格運行へと繋げていくための支援を行っていきたいと考えております。</p> <p>今後も引き続き、各地域のニーズに応じた住民主体の地域内交通の普及を推進してまいりたいと考えておりますので、地域内交通の実施をご検討の際には、是非一度市にご相談くださいますよう、お願いいたします。</p>	無
3	<p>昨年度と今年度の2回にわたり配布いただいた「バス・タクシー共通利用券」は大変助かりました。公共交通の利用促進を図るためにも、このような取組は有効であると思いますので、今後も続けていただきたいです。</p>	<p>市では、新型コロナウイルス対策事業として、令和2年12月～令和3年2月までと、令和3年4月～9月までの2回にわたり、「高齢者バス・タクシー利用促進事業」を実施いたしました。本事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者が大幅に減少した公共交通事業者を支援することを目的とし、国の地方創生臨時交付金を活用し実施しましたが、移動手段を持たない多くの高齢者の方に利用していただくなど、利用促進の視点で一定の効果が得られたものと認識しています。</p> <p>今後におきましては、新型コロナウイルス感染拡大状況や公共交通利用状況を踏まえつつ、必要に応じ検討して参りたいと考えております。</p>	無